

沼津市中心市街地活性化基本計画

(抜粋)

静岡県 沼津市

平成 21 年 12 月

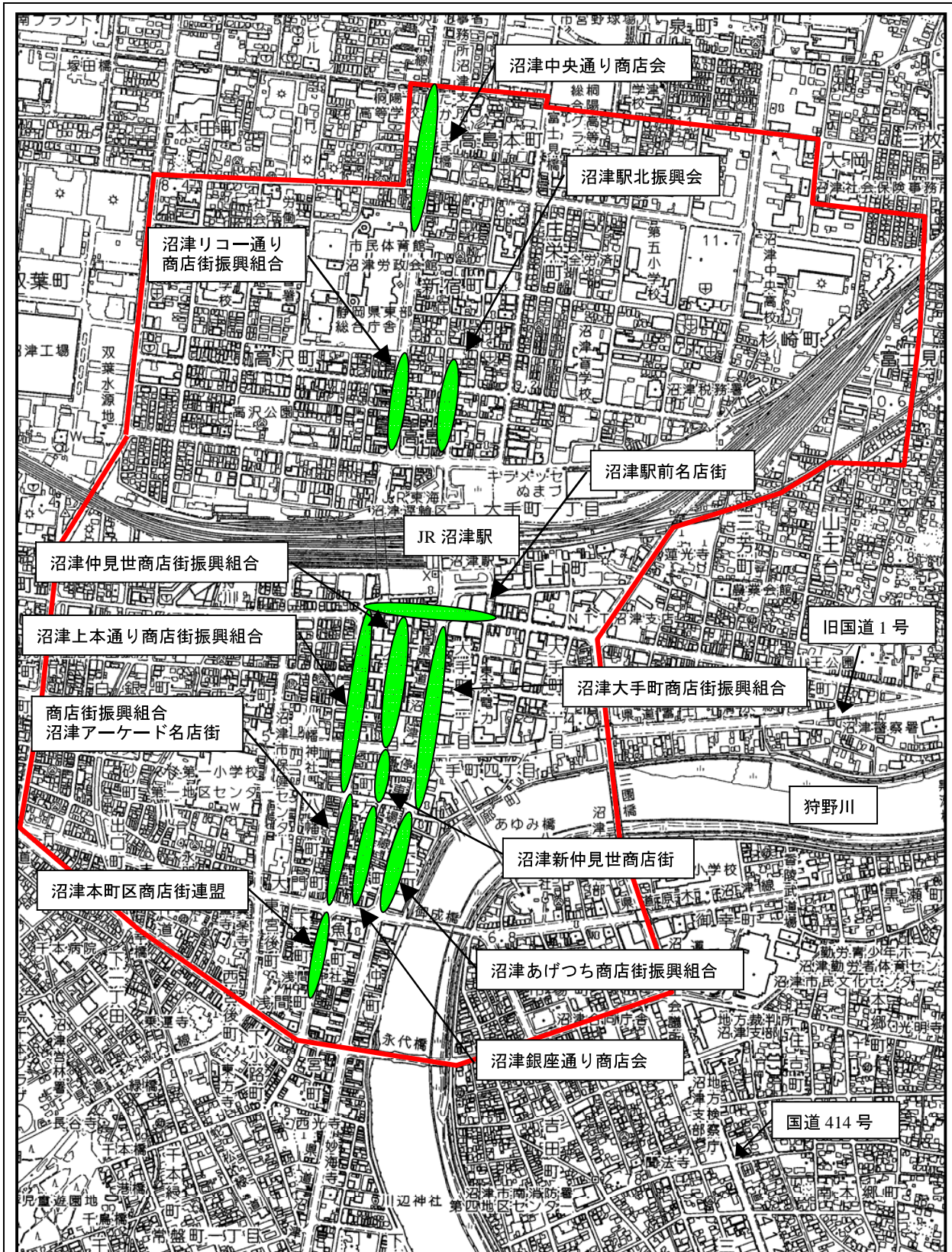
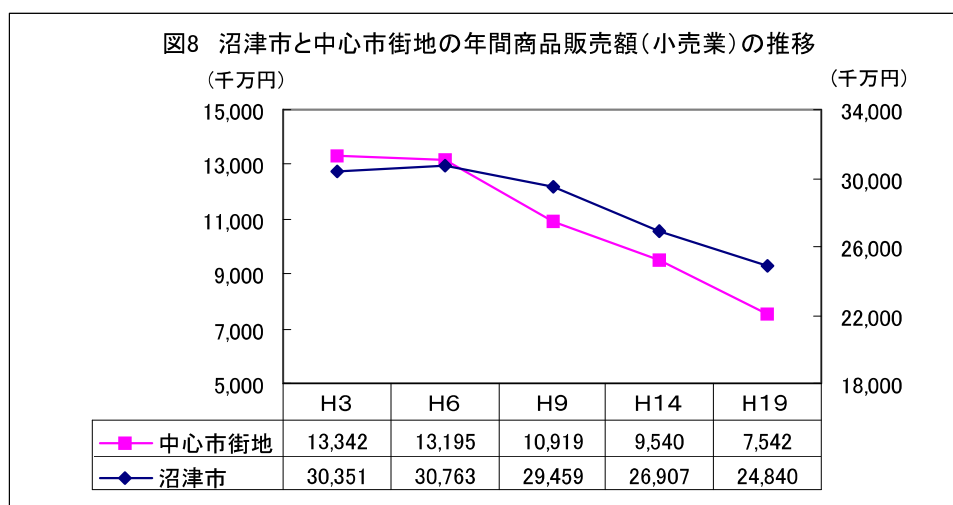


図7 中心市街地における商店街

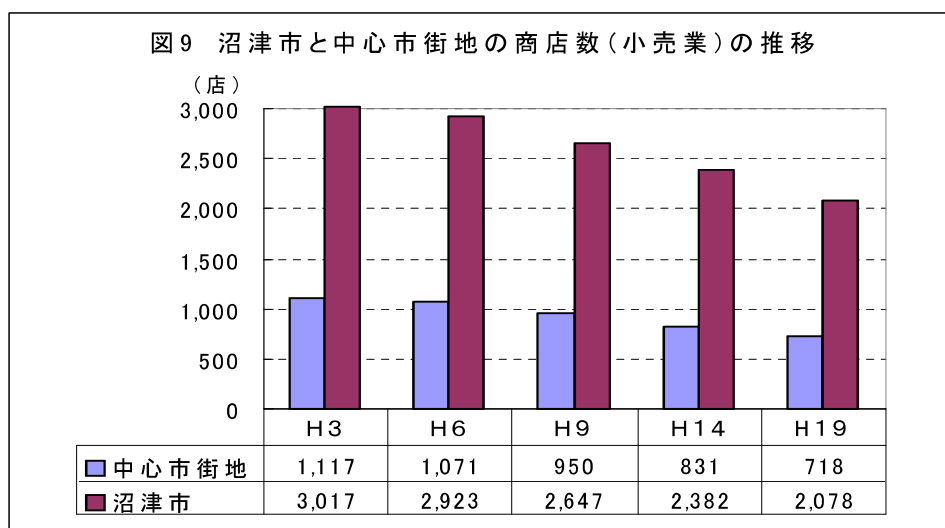
— 中心市街地の区域

2) 小売業に関する現状

沼津市及び中心市街地における小売業は、年間商品販売額、商店数とも減少傾向にある。平成3年と平成19年の年間商品販売額（小売業）を比較すると、沼津市全域で5,511千万円の減少に対し、中心市街地では5,800千万円の減少となっており、中心市街地における商品販売額の減少が、沼津市全体を超える結果となっている。このことは、郊外型の店舗における商品販売額が若干上昇する一方で、中心市街地では大幅に減少する状況にあることを示している。



(資料:商業統計調査)



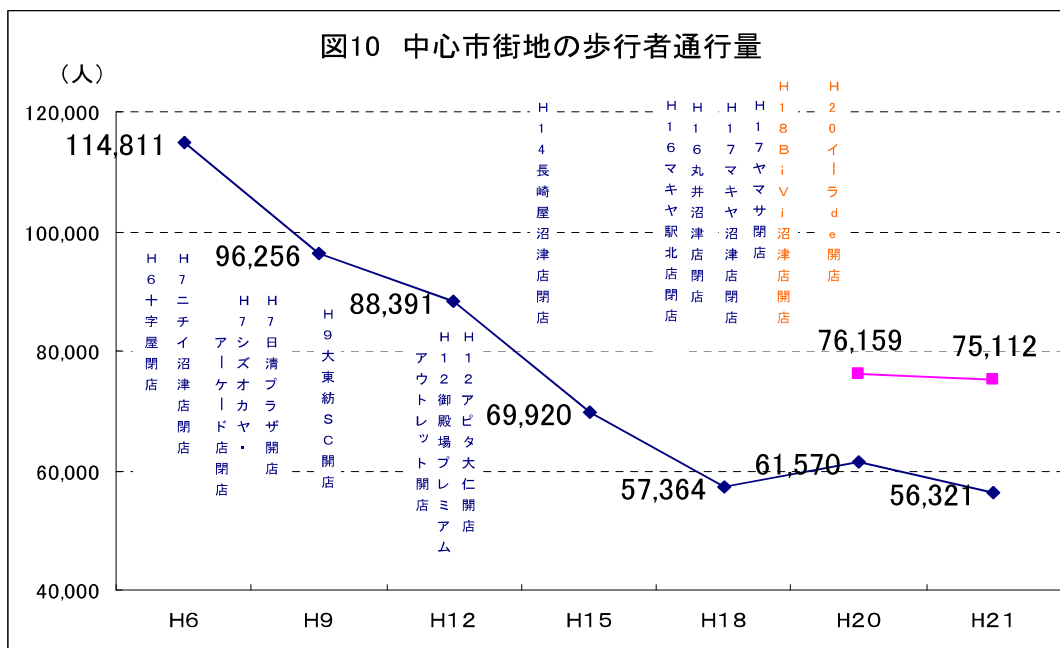
(資料:商業統計調査)

(4) にぎわいに関する状況

歩行者通行量調査は、平成 20 年に目標とする回遊性の把握ができるよう新たに調査地点を加えるなど調査地点を一部変更したが、12 地点については継続して調査が行われている。

この継続調査地点の結果は、平成 20 年に若干上昇したものの、平成 21 年度の調査では再び減少を示した。

また、商店街の空き店舗数についても増加傾向にあり、平成 21 年 4 月時点では 73 店舗となり、商店街全体に占める空き店舗率は 12.4%となっている。

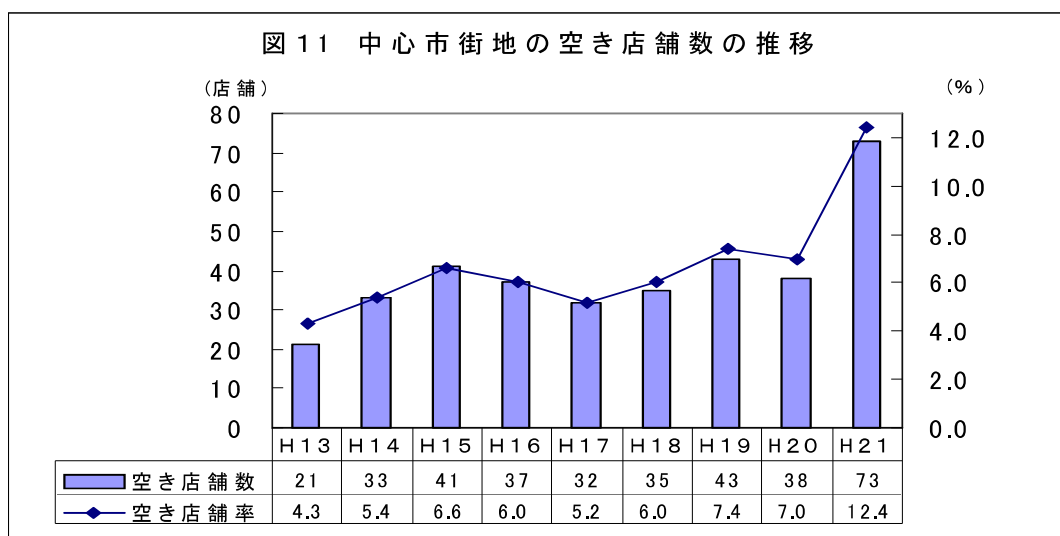


※◆継続調査地点(日曜日)

(資料:歩行者通行量調査)

※■数値目標調査地点(日曜日)

※赤字: 来街者数増加要因 青字: 来街者数減少要因



※各年 4 月時点

(資料:沼津商工会議所調査)